

電力先物市場 参考データ

投資等ワーキング・グループ

座長 原 英史

TOCOM の経営状態

・2008 年度から **9 期連続赤字** (10 期連続の可能性)。

(年度)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017 前半
単体当期 純損益 (億円)	▲2.9	▲0.6	▲9.4	▲4.4	▲2.0	▲11.2	▲3.5
連結	▲2.1	0.2	▲9.1	0.4	▲4.9	▲11.0	▲3.3

・キャッシュ(資産の現預金)も、2011 年 3 月の **150 億円**から 2017 年 9 月は **54 億円**まで 3 分の 1 に減少。

海外取引所などとの取引規模の比較

- ・取引規模は、CME(シカゴ・マーカンタイル取引所)は TOCOM の約 **100 倍**、ICE(インターコンチネンタル取引所)や JPX(日本取引所グループ)は約 **10 倍**の規模。
- ・CME や ICE は、すでに電力、天然ガス及び石炭の先物市場も完備。

(取引証拠金の預託額)

取引所 (清算機関)	TOCOM (JCCH)	JPX (JSCC)	CME (CME Clearing)	ICE US (ICE clear)	EEX (ECC AG)
証拠金額	約 1600 億円	約 1 兆 6400 億円	約 14 兆 9600 億円	約 1 兆 5000 億円	約 3300 億円
取扱商品	金、石油など	金融	貴金属、エネルギー全般、金融	貴金属、エネルギー全般、金融	電力、ガス、石炭
備考			・110 円/ドルで換算	・110 円/ドルで換算	・130 円/ユーロで換算 ・エネルギーのみの市場

(出典)「電力先物市場の在り方に関する検討会報告書」(平成 30 年 4 月経済産業省)P 34 の表を基に作成

クリアリング機関の比較

	JCCH (日本商品清算機構)	JSCC (日本証券クリアリング機構)
資本金	6.3 億円	89.5 億円

未来投資戦略 2017 の記載

「電力先物取引が LNG その他のエネルギー先物取引とできるだけワンストップで行われる環境を整備する観点も踏まえながら電力先物取引の検討を行う。」

「総合取引所を可及的速やかに実現するとともに、電力先物・LNG 先物の円滑な上場を確保するよう、積極的に取り組む」

以上